

ミーティング活動報告書

内容1 自社のヒヤリハットを参考にしたのKY訓練(リフト編)

① 長爪でフォークの爪を挿入する時の危険箇所

(添付資料①-1)

状況 ・二枚同時掬いをしようとしている。 少し爪先が上昇している。

危険箇所 ・リフトの爪で奥の荷物を突いてしまうかもしれない。

・反対のウイングがあいていたら荷物を押して落下させる。

対策 ・爪を水平にして少し差し込み、一度停止する。〈爪先確認〉

・奥の荷物に接触しないように爪先を下降気味にして

両方の荷物を確認しながらゆっくり差し込む。

・手前の荷物と奥の荷物を同時に荷卸せず、一枚ずつ荷卸する。

② 長爪でフォークを抜く際の危険箇所

(添付資料①-2)

状況 ・リフト後方に障害物がある。当該製品以外の荷物を見ている。
少し爪先が上昇している。

危険箇所 ・よそ見をしている為、後方の障害物に気づかず接触するかもしれない。

・フォークが少し上昇している為、手前製品(パレット)に引っ掛かり
製品を引き出して落下(転倒)させるかもしれない。

対策 ・後方確認をする。

・フォークを水平にしてバックする。

爪先を抜ききる前に一度停止。爪先を確認してから爪を抜く。

ポイント⇒長爪リフトの危険性

・爪が長い事で水平が分かりづらく死角の荷物を突きやすい。

・爪が長い事で移動範囲が広くなり、障害物に接触の危険が増える。

・爪が長い事で荷物が不安定になりやすく旋回等で転倒させる危険がある。

以上をふまえて通常のリフト作業に比べ長爪リフト作業は
危険箇所の増加、慎重な作業が求められる。